

# 妖怪と怪獣の本



日本最古の書物である「古事記」や「日本書紀」にも鬼やオロチが登場します。さいたま市にも、大宮に棲んで女性の血を吸い肉を食したという「黒塚の鬼婆」の伝説があります。

民俗学で伝承された妖怪たちや、映像世界で活動する怪獣たちは、恐れながらも愛され続けている異界の住人です。

異界への入り口になる妖怪と怪獣の本を紹介します。本の扉の向こうで何かがおこるかもしれません。

## 妖怪学入門

- 一目小僧その他 [柳田國男全集 7]  
柳田國男／著 筑摩書房 1998
- もののけ 全2巻 ものと人間の文化史  
法政大学出版局 2004
- 妖怪学入門  
阿部 主計／著 雄山閣 1987
- 幽霊学入門  
河合 祥一郎／編 新書館 2010
- 妖怪学の基礎知識  
小松 和彦／編著 角川学芸出版 2011
- 妖怪学の祖 井上圓了  
菊地 章太／著 角川学芸出版 2013
- 図説日本妖怪大全  
水木 しげる／著 講談社 1994
- 水木しげるの妖怪地図 別冊太陽  
荒俣 宏／監修 平凡社 2011
- 図説日本の妖怪  
岩井 宏実／監修 河出書房新社 2000
- 埼玉県伝説集成 下巻 分類と解説 信仰編  
荑塚 一三郎／編著 北辰図書出版 1974

## 怪獣学入門

- 定本円谷英二随筆評論集成  
円谷 英二／著 ワイズ出版 2010
- 形態学的怪獣論  
小林 晋一郎／著 朝日ソノラマ 1993
- 怪獣はなぜ日本を襲うのか？  
長山 靖生／著 筑摩書房 2002
- ゴジラが来る夜に 「思考をせまる怪獣」の現代史  
高橋 敏夫／著 集英社 1999
- 特撮と怪獣 わが造形美術  
成田 亨／著 フィルムアート社 1996
- OHの肖像 証言構成  
竹内 博／編 飛鳥新社 1988
- 怪獣使いと少年 ウルトランマンの作家たち  
切通 理作／著 宝島社 1993
- 金城哲夫ウルトラマン島唄  
上原 正三／著 筑摩書房 1999
- ノンマルトの使者 金城哲夫シナリオ傑作集  
金城 哲夫／著 朝日ソノラマ 1984
- 夜ごとの円盤 怪獣夢幻館  
実相寺 昭雄／著 大和書房 1988

## 妖怪小説を読む

●姑獲鳥の夏 [百鬼夜行シリーズ]

京極 夏彦／著 講談社 1994

●しゃばけ [しゃばけシリーズ]

畠中 恵／著 新潮社 2001

●黒塚

夢枕 獯／著 集英社 2000

## 怪獣小説を読む

●怪獣ゴジラ [香山滋全集 7]

香山 滋／著 三一書房 1994

●発光妖精とモスラ

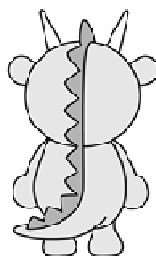
中村 真一郎、福永 武彦、堀田 善衛／著 筑摩書房 1994

●ウルトラマンメビウス アンデレスホリゾン

朱川 湊人／著 光文社 2009

●星の林に月の舟 怪獣に夢見た男たち

実相寺 昭雄／著 大和書房 1987



このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館  
で所蔵しています。貸出や予約(順番待ち)ができます。

さいたま市図書館ホームページ <http://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂11-1 TEL048-871-2100